

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
 【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
 HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、AGS JOINT STOCK COMPANY (ベトナム・ホーチミン)



【釜山支店】

「韓国人学生」就職戦国時代 ～後編～

1. はじめに

今回は、韓国人学生を取り巻く厳しい社会・就職環境や、日本企業への就職により活路を見出す韓国人学生への支援策についてお伝えしました。

韓国では、官民一体となって国外への就職を推進しており、国外企業を招待し就職博覧会を開催したり、国外就職専用プロジェクトを立ち上げたりと積極支援が行われています。

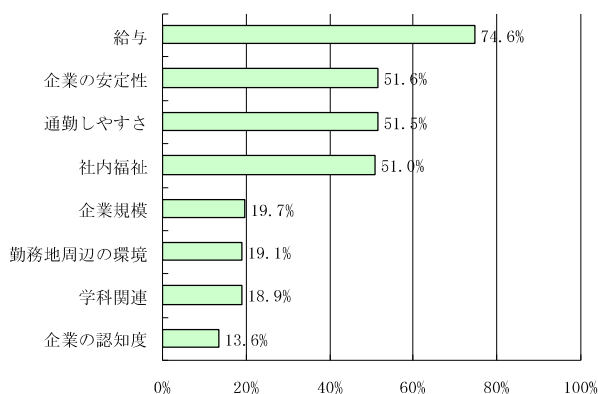
今回は、実際に韓国人大学生はどのような職場を希望しているのか、実際の活動内容、既に採用に向けた取組みを行っている日本企業の動向について、お伝えしていきます。

2. 韓国人学生が、仕事に求めるもの

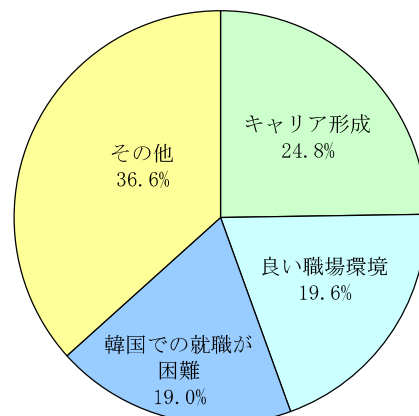
近年、日本人学生は就職先を選ぶにあたり、「企業の安定性」や「自分のやりたい事ができる」、「給料」を重視する傾向にあります（2020 年卒マイナビ大学生就職意識調査）、韓国人学生が就職先を選ぶにあたっては、どのようなことが重視されているのでしょうか。

韓国貿易協会が実施したアンケート（2015 年）によれば、韓国人求職者が就職先を選ぶ際は、「給与」や「企業の安定性」、「通勤しやすさ」を重視する傾向にあることがわかります。この点において、一般的な韓国人学生は日本人と似たような点を重視していることがわかります。

【図表 1 韓国人求職者重視事項】



【図表 2 日本就職を決めた理由】



ただし、日本へ就職を決意した学生の場合、少し傾向が異なります。キャリア形成を挙げる学生が多く、自らの能力（語学、専門スキル）を活用し挑戦したい、という学生が多く集まる傾向にあります。

日本への就職支援に取り組んでいる大学関係者によれば、具体的に希望する職務がある学生ばかりでなく、漠然とした海外への憧れを持っている学生も多く、就職活動の中で明確になるケースもあるとのこと。

3. 日本企業の動向

多彩な人材を必要としている IT 業や、日本国外からのお客様をもてなす機会の多い宿泊業を中心に、就職博覧会への参加などを通じて、既に多くの日本企業が韓国人材の採用活動を強化しています。

2019 年に、ソウル市で開催された就職博覧会「Japan Job Fair」には、115 社の日本企業が参加しており、九州・山口地区の企業だけでも 30 件の採用に至っています。国家プロジェクトの一環であるため、ブース出展料が無料である博覧会も多く、日本企業にとって参加のハードルは低い状況にあります。

学生の興味のある職種も事務管理、営業、IT、サービスと多様であり、求める人材に出会える可能性も高い状況下、今後も韓国人大学生に興味を示す日本企業は増加するものと予想されます。

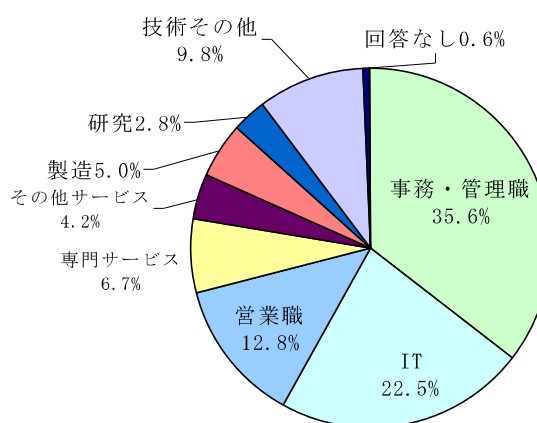
【図表 3 Japan Job Fair2019 実績※】

職種	求人票数	構成比	採用人数	採用率
IT業	27	28.1%	7	25.9%
宿泊業	22	22.9%	14	63.6%
卸小売業	12	12.5%	2	16.7%
製造業	14	14.6%	2	14.3%
不動産業	9	9.4%	2	22.2%
金融業	4	4.2%	1	25.0%
運輸業	2	2.1%	1	50.0%
専門サービス業	2	2.1%	1	50.0%
科学技術業	2	2.1%	0	0.0%
サービス業	1	1.0%	0	0.0%
建設業	1	1.0%	0	0.0%
合計	96	100.0%	30	

出典：大韓貿易投資振興公社（KOTRA）福岡

※九州・山口地区企業のみ

【図表 4 参加学生の希望業務内容】



出典：大韓貿易投資振興公社（KOTRA）福岡

4. 課題

仕事に対するモチベーションが高く、語学能力に優れた韓国人学生の活用機会が、日々広がりを見せている中ではありますが、特に留意が必要な課題もあります。

まず、韓国人学生が日本で働くためには、外国人が適法に滞在するための就業ビザの取得が必要となり、その手続きは採用企業側で行うことが一般的です。就業ビザは、職務内容毎に 16 種類に細分化されているため、具体的な職務内容を定める必要があります。特に、

総合職採用のような採用形態（ジョブローテーション等、様々な業務が想定される）を検討する場合は、従事業務の範囲が曖昧にならないよう留意する必要があります。

次に、文化の違いに起因する生活面の課題です。韓国人学生にとって、海外での一人暮らしは不安や孤立の要因となり得ます。例えば食事ひとつをとっても、日本食は一般的に韓国の味付けに比べ塩辛いものが多く、口に合わない韓国人も散見されます。このような生活面のミスマッチを理由に退職となってしまうケースもあるので、離職防止の観点からも、企業側において、入社後の生活サポートが必要になります。

しかし、以上のような課題を乗り越えれば、韓国人学生の満足度、定着度は高くなるものと考えられます。韓国貿易協会東京支部が日本に就職して勤務している 143 人の韓国人就業者を対象にした調査結果によれば、58%の人が満足との回答であり、85%の人が友人・知人に日本での就職を勧めたいと回答しています。

【参考図表 5 韓国就活生が入社したい韓国企業ランキング】

順位	グループ名	主要事業	中核企業	連結売上高※
1	サムソン	電子部品製造	サムソン電子(株)	約243兆ウォン (約21.9兆円)
2	公営企業・公共機関			
3	L G	電子部品製造	L G 電子(株)	約61兆ウォン (約5.5兆円)
4	S K	通信	S K テレコム(株)	約17兆ウォン (約1.5兆円)
5	C J	食料品製造・卸小売	C J 第一製糖(株)	約19兆ウォン (約1.7兆円)
6	現代自動車	自動車製造	現代自動車(株)	約97兆ウォン (約8.7兆円)
7	カカオ	S N S 運営	(株)カカオ	約2.5兆ウォン (約2,257億円)
8	ロッテ	百貨店	ロッテショッピング(株)	約18兆ウォン (1.6兆円)
9	アモーレパシフィック	化粧品製造販売	(株)アモーレパシフィック	約5.3兆ウォン (約4,785億円)
10	韓進	貨物運送	(株)韓進	約1.9兆ウォン (約1,715億円)

※連結売上高＝中核企業の 2018/12 期実績 出典：ジョブコリア、金融監督院電子公示システム

5. おわりに

日本では最近、社会課題として「人材不足」という言葉が注目されていますが、一口に人材不足といっても現場労働者の不足、幹部候補人材の不足、経営後継者の不足と、課題は事業者ごとに異なっています。

韓国人学生は幼いころから十分な語学教育を受けており、語学能力に長けている人が多いのが特徴です。彼らを活用することで、グローバルな仕入販売先の発掘、安定した採用窓口の確保など、新たなビジネスへ繋がる可能性を、より広げることが可能です。

当店では、就職博覧会および現地情報のご案内をはじめ、皆様の経営課題に即したご提案を行うことが可能です。特に、韓国人学生の採用を初めて検討する際は、様々なご不安があるかと思います。我々が全力でサポートいたしますので、ご興味のある方は、是非当店までご連絡をお願いいたします。

(山口銀行釜山支店 小林 正典)

【参考文献】

2020 年卒マイナビ大学生就職意識調査

https://www.mynavi.jp/news/2019/04/post_19872.html

デジタルタイムズ

http://www.dt.co.kr/contents.html?article_no=2015030802109932102002

ニュー시스

https://newsis.com/view/?id=NISX20171108_0000141437&cID=13001&pID=13000

聯合ニュース 海外就職特集①

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20191227077500371?input=1195m>

聯合ニュース 海外就職特集②

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20191224066200371?section=search>

就業ビザ種類について（外務省）

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/chouki/index.html>

ジョブコリア

http://www.jobkorea.co.kr/goodjob/Tip/View?News_No=16261&schCtgr=0&Page=15